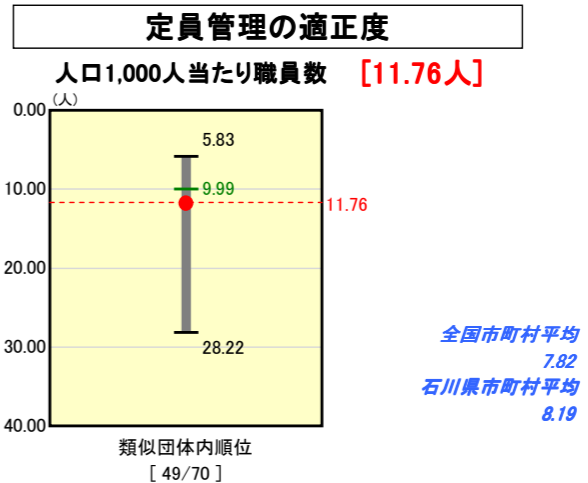
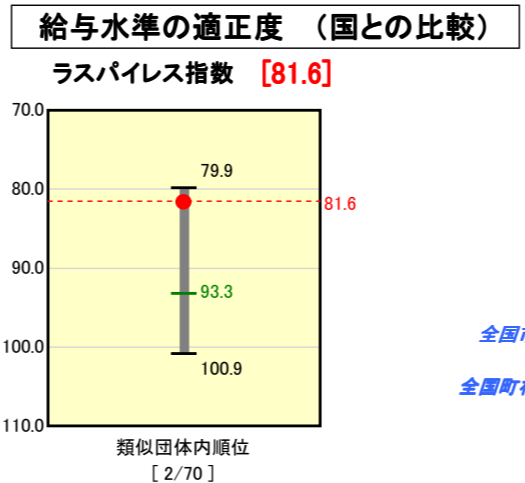
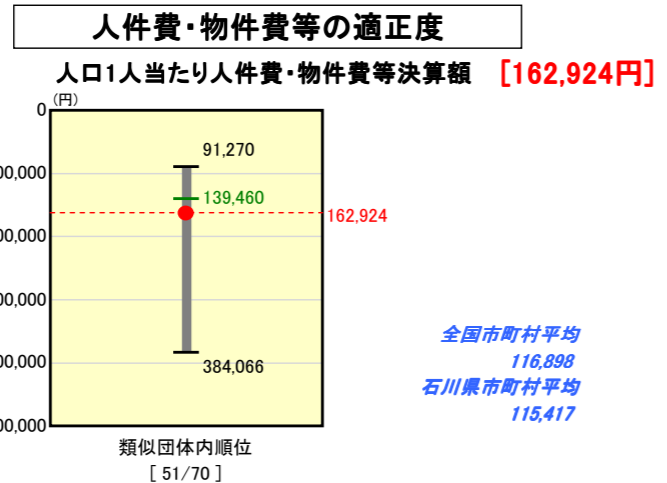
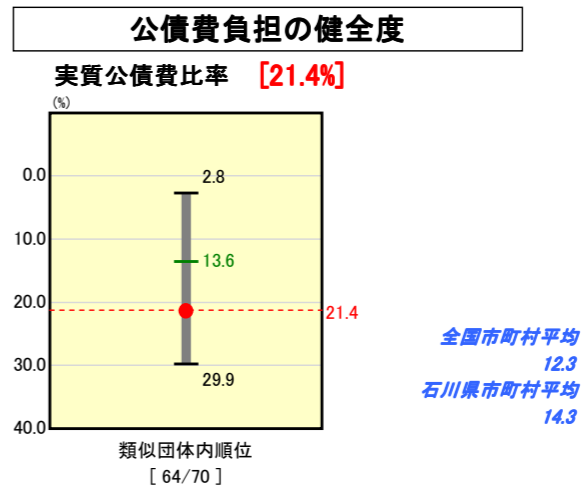
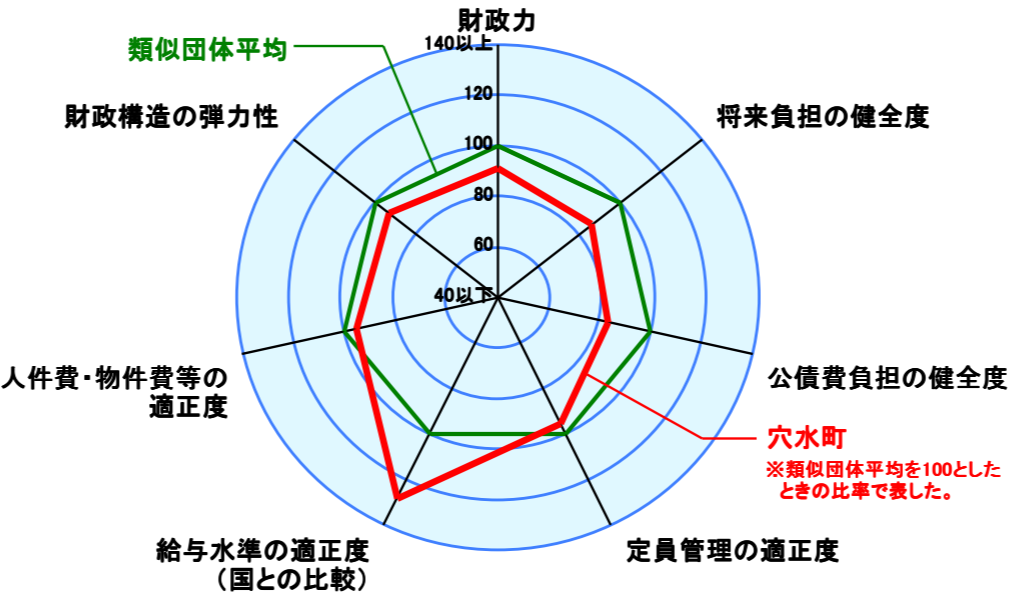
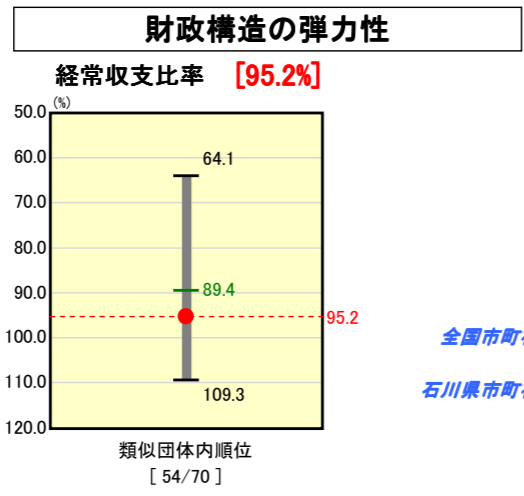
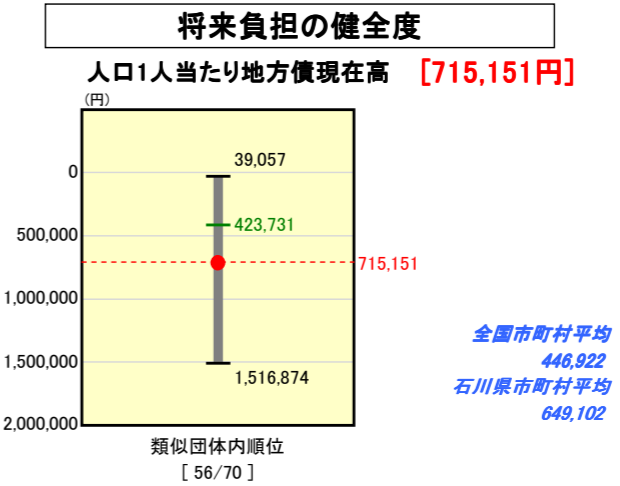
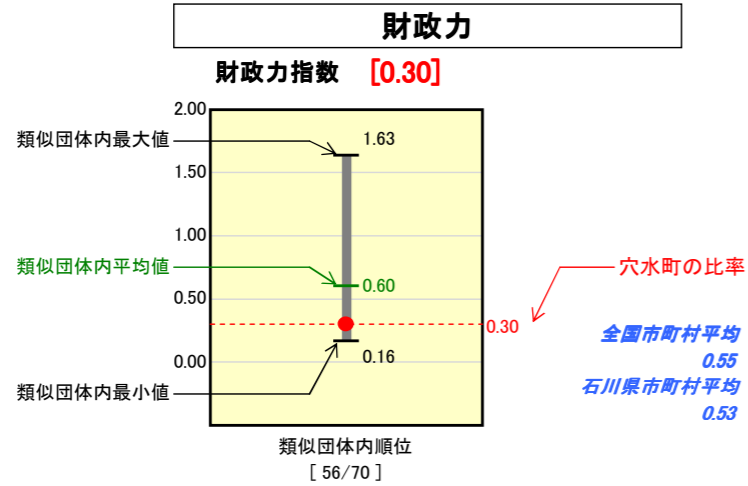


# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 石川県 穴水町

人口	10,546	人(H20.3.31現在)
面積	183.24	km <sup>2</sup>
歳入総額	6,931,696	千円
歳出総額	6,912,662	千円
実質収支	17,443	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

① 財政力指数：人口の減少や全国平均を上回る高齢化率(18年末34.1%)に加え、町内に中心となる産業がないこと等により、財政基盤が弱く、更に能登半島地震の復旧、復興事業の影響もあり、類似団体平均をかなり下回っている。平成17年度に作成した「新行政改革大綱」の指針に沿って、歳出の徹底的な見直しと行政改革プランに沿った施策の重点化の両立に努め、活力あるまちづくりを展開しつつ、行政の効率化に努めることにより、財政の健全化を図る。

② 経常収支比率：経常収支比率が95.2%と前年度と比較し2.3ポイント増加しており、財政構造の硬直化が進んでいる。18年度決算における類似団体との比較でも、類似団体が88.6%と4.3ポイント高い状況である。主な要因としては、一部事務組合に対する負担金が大きく、負担内容の分析を行ったうえで、構成団体として経費削減についての可能性の検討を行う。また、経常的な収入である町税などの「経常一般財源」の確保、人件費、公債費などの経常的な支出に充当する「経常経費充当一般財源」の抑制に努める。各種の事務事業の見直しにより、経常経費の改善を図ることを前提に、80%台に抑制することを目標に改善に努める。

③ ラスパイレ指数：旧来から給与水準が低かったことや給与水準を底上げするための特別昇給は一切行っておらないことから、類似団体平均は大きく下回る81.6%と低い指数となっている。

④ 実質公債費比率：実質公債費比率が21.4%(前年度比+1.8ポイント)と県内で最も高い状況であり、19年度の単年度比率においては25.9%と早期健全化基準である25%を超える状況となっています。これは、病院事業への繰出が大幅に増えたことが主な要因であるが、病院改革の推進はもとより、公債費負担の適正化に向けた対策として、普通建設事業費に係る起債の整理・縮減を図るなど、起債依存型の事業実施を見直し、新規の地方債の発行を5億円の上限枠設定とし、抑制するほか、他会計の新規事業についても、積極的にコスト縮減を図るとともに、より一層の競争性を確保した制度の確立に取り組み地方債の発行の抑制を図ります。

⑤ 人口1人当たり地方債現在高：類似団体平均を上回っている。主な要因としては、平成4年度から平成10年度までにバブルと共に実施した事業等であるが、新規地方債の発行の抑制等により、順次起債の償還が完了し、平成22年度以後には類似団体平均の水準となるよう努める。

⑥ 人口1,000人当たり職員数：職員数については、平成17年4月1日から5ヶ年で定年退職・勲奨退職等により、現在の職員数120人から20%(30人)の削減を図る。

⑦ 人口1人当たり人件費・物件費等決算額：人件費が主な要因で、平成22年度までの5年間に20%の人員削減で人件費の削減を図る。